

## 2 計画の進行管理

計画を着実に推進し、進行管理を行っていくために、PDCA マネジメントサイクルの確実な実行による事業効果の適切な評価を行い、具体的な成果の創出と成果の見える化を進めます。

その際、根拠に基づく政策立案（EBPM）の考え方を重視するとともに、指標の達成状況の分析や適時・適切な指標への更新なども含め、本県が保有する統計情報など様々なデータを積極的に活用しながら、実効性の高い事業の企画立案につなげます。

また、機動的かつ効果的な第三者評価を実施するため、福島県総合計画審議会等において、施策の点検・評価を行うほか、県内各地域で、県民との意見交換の場を設定することなどにより、地域の声を計画の進行管理に活用します。

